

千早 高等学校 令和7年度 教科 国語 科目 文学国語

教 科： 国語 科 目： 文学国語 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 HR 21 ～ HR 26

教科担当者：

使用教科書：（新 文学国語 三省堂）

- 教科 国語 の目標：
- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
 - 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりとのなかで伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
 - 【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたり国語を尊重してその能力向上を図る態度を養う。

科目 文学国語		の目標：	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】	
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元【発想と感覚】 【知識及び技能】 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 表現に注意しながら読み、作品が書かれた背景を踏まえて作品を鑑賞しようとする力を育てる。	教材 ・「虹の雌雄」 ・「城の崎にて」 指導事項 ・「虹」に関する語り手の心情を理解し、他者と共有することを通じて理解を深める。 ・作品が書かれた背景も視野に入れながら、「自分」の死に対する気持ちがどのように変化していくのか読み取る。	【知識及び技能】 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 表現に注意しながら読み、作品が書かれた背景を踏まえて作品を鑑賞しようとしている。	○	○	○	14
				○	○		1
	単元【人間の姿と心】 【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に語彙を増やし、語り手の心情の変化を読み取ろうと粘り強く取り組む力を育む。	教材 ・「山月記」 指導事項 ・作品の場面設定や状況を理解し、登場人物の関係性をまとめる。 ・登場人物の心情の変化を捉えて、自分なりの意見を持つ。 ・自分の意見を他者と共有し、人間の内面について深く考える。	【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に語彙を増やし、語り手の心情の変化を読み取ろうと粘り強く取り組んでいる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2 学 期	単元【意味と解釈】 【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 人間のあり方について自分なりの意見を持ち、自らの学びを調整する力を養う。	教材 ・「こころ」 指導事項 ・作者について理解を深める。 ・作品が書かれた時代を考慮に入れながら語彙を増やすとともに、作品の内容を解釈する。 ・登場人物の関係性や心情を理解することを通して、人間や社会に対する自分なりの意見を持つ。	【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 人間のあり方について自分なりの意見を持ち、自らの学びを調整している。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	単元【意味と解釈】 【知識及び技能】 文学的な文章における文体的特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 人間のあり方について自分なりの意見を持ち、自らの学びを調整する力を養う。	教材 ・「こころ」 ・「永訣の朝」 指導事項 ・作者について理解を深める。 ・作品が書かれた時代を考慮に入れながら語彙を増やすとともに、作品の内容を解釈する。 ・登場人物の関係性や心情を理解することを通して、人間や社会に対する自分なりの意見を持つ。 ・表現技法等に注意して読み、作品の特徴と作者の思いを理解する。	【知識及び技能】 文学的な文章における文体的特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 人間のあり方について自分なりの意見を持ち、自らの学びを調整している。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	単元【近代の創造】 【知識及び技能】 文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】	教材 ・「富嶽百景」 指導事項 ・作者について理解するとともに、作品が書かれた背景を理解する。 ・登場人物の心情の変化を読み取り、	【知識及び技能】 文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈し				

3 学 期	語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 作品が書かれた背景を踏まえて作品を解釈するとともに、作者についても理解を深めようと粘り強く取り組む姿勢を育てる。	自分なりの意見を持つ。 ・読み取った内容を他者と共有することで、考えを深める。	ている。 【学びに向かう力、人間性等】 作品が書かれた背景を踏まえて作品を解釈するとともに、作者についても理解を深めようと粘り強く取り組んでいる。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
							合計
							78

